

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

| | | | |
|--|----------------------|-------------------------|---------------------|
| 1 都道府県・市区町村名 | 大分県 | 2 補助事業の種類 | 地域文化遺産活性化 |
| 3 実施計画の名称 | 大分県の文化遺産を活かした地域活性化事業 | | |
| 4 実施計画期間 | 平成 23 年度 ～ 平成 32 年度 | | |
| 5 実施計画の概要 | | | |
| <p>大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」の「【発展】2. 芸術文化による創造県おおいたの推進（3）文化財・伝統文化の保存・活用・継承」の内容を踏まえ、大分県内に所在する文化遺産を保存・管理し、積極的な活用を通して地域活性化の推進や次世代への継承を行うための取組を実施する。なお、今後の取組内容については、これまで実施してきた取組を活かして、下記二つの取組を中心として行う。また、事業を実施する中で、行政・民間団体・文化財所有者等が連携・協力し、大分県の文化遺産が十分保護される体制の確立を目指す。</p> <p>さらに、今後予定されている国民文化祭おおいた2018（平成30年度）、ラグビーワールドカップ（平成31年度）、東京オリンピック・パラリンピック（平成32年度）という県内にととまらず、国内外に大分県の文化遺産の魅力を発信できる機会を活用して、文化財・伝統文化の保存・活用・継承の機運を高める。そして、実施計画期間終了後も、実施計画中の取組の継続及び更なる大分県の文化遺産を活かした地域活性化の推進や次世代への伝統文化の継承を図り、県民の文化財・伝統文化の保存・活用・継承に係る興味・意識を高めていく。</p> <p>【取組内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大分県内の民俗芸能を活かした普及啓発事業（平成29年度～平成32年度） 2 「おおいた遺産」を活用した情報発信・人材育成・普及啓発事業（平成29年度～平成31年度） | | | |
| 6 実施体制 | | | |
| <p>取組内容を効率的に実施するため、取組内容に応じて以下の実行委員会を組織する。（理由書添付あり）</p> <p>【平成29年度体制】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 おおいた民謡・民俗芸能活性化委員会（会長：中山 欽吾） 大分県内の民俗芸能を活かした普及啓発事業を実施 2 おおいた遺産活性化委員会（会長：幸重 綱二） 「おおいた遺産」を活用した情報発信・人材育成・普及啓発事業を実施 <p>※上記2つの事業の統括、適正な経費の執行管理を目的として、「大分県の文化遺産を活かした地域活性化事業連絡協議会」を設置する。</p> | | | |
| 7 実施計画における目標と期待される効果 | | 別紙①のとおり | |
| 8 補助事業の概要 | (1) 補助金額 | ～平成28年度交付決定額： 87,663 千円 | 平成29年度申請額： 6,669 千円 |
| | (2) 実施事業の概要 | 別紙②のとおり | |
| 9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載） | | | |
| <p>大分県内の民俗芸能に係るフェスティバルのシリーズ開催を実施し、幅広い世代へ普及啓発を行うことにより、県内の伝統文化の魅力の発信や次世代への継承へつながると考えられる。</p> <p>また、大分県民が故郷大分県の文化、歴史、自然等の遺産について学ぶことにより、故郷への理解を深め、郷土への愛着を育むことが期待される。</p> <p>さらに、大分県内の文化遺産を紹介する広域ガイドを育成することにより、観光振興や各地域に点在する文化財の魅力の再発見、文化財を活用したまちづくり・地域づくりを行い、事業終了後も自立して歴史背景を持った地域づくりを行うことができると考えられる。</p> <p>これらの取組により大分県における文化の活性化を図り、今後開催が予定されている国民文化祭おおいた2018、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック等の文化プログラムにも活かしていく。</p> | | | |
| 10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など） | | | |
| 事業概要： | | | |
| 11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等 | | | |
| 他都道府県の状況を注視しているところ。 | | | |
| 12 担当部局 | | | |
| 地方公共団体 担当部局課 | 大分県教育庁文化課 | | |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

| | | | | | | |
|------------|--|-----------|----------|----------|-----------|--|
| 目標区分 1 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 1 : | 地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 1 : | 県立歴史博物館・先哲史料館・埋蔵文化財センターの利用者数 | | | 関連事業: | ①、②、③、④ | |
| 目標値 1 : | 平成 28 年度 | 102,000 人 | ⇒ | 平成 32 年度 | 113,500 人 | |
| 設定根拠 1 : | 大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」での目標指標 毎年500人増を基本として、H29～H31年度の間で約10,000人の増を目指す | | | | | |
| 進捗状況 1 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|----------|----------|---------------------|-----------------|--|
| 事業④： | おおいた遺産を活用した普及啓発事業 | | 実施団体： | おおいた遺産活性化委員会 | | |
| 事業区分： | 普及啓発 | | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 31 年度 | | |
| 事業概要： | 県内を5ブロックに分けて、奇数月に事前学習会、偶数月にモニターツアーを実施して、県民が県内の文化遺産の価値を再認識する機会をつくり、次世代に保存・継承していく機運を醸成する。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会への新規入会者数 | | | | (具体的な指標は次のとおり) | |
| 具体的な指標： | 大分学研究会への新規入会者数 | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 5 人 | | ⇒ 平成 32 年度 10 人 | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| | | | | | | |